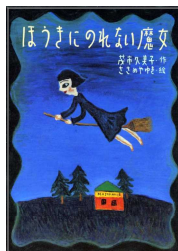


ほうきにのれない魔女

茂市 久美子/作 ささめゆき/絵 ポプラ社

8月が始まったばかりのある日、5年生の女の子ツララは、おばあちゃんが住む七竈の森にやってきました。お父さんの仕事のために、これから1年間は、両親とはなれて、魔女のおばあちゃんとくらすのです。最初のうちは、さみしがっていたツララでしたが、友達ができ、魔法も少しずつ使えるようになりました。



妹になるんだワン!

スーザン・E・ヒントン/作 こだまともこ/訳 高橋 由為子/絵 徳間書店

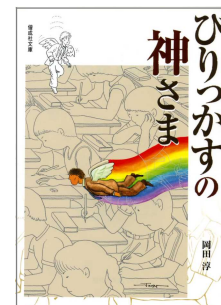
ニックの家にもらわれてきた子犬のアリーシャは、自分を人間だと思っていました。ある日、自分は犬だと知り、人間になろうと決心しました。後ろ足で歩き、言葉を覚え、鼻も短くなって、だんだん人間へ変身していきませんが、次々と大変なことが起こります。



びりっかすの神さま

岡田 淳/作・絵 偕成社

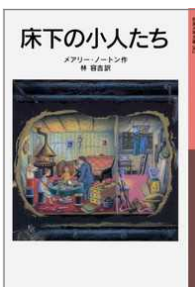
転入生の始は、初めて入った教室で信じられない光景を見ました。つばさがある小さなすきとおった男が空中を飛んでいたのです。しかし、見えているのは始だけ。始は、その男が、テストで最低点をとる子の席にやってくることに気づきます。



床下の小人たち

メアリー・ノートン/作 林 容吉/訳 ダイアナ・スタンレー/さし絵 岩波書店

古い家の床下に小人の一家が暮らしていました。生活に必要な物は全部、人間からこっそり借り、絶対に姿を見られてはいけないのです。ところが、この家に病気で預けられていた男の子と小人のアリエッティは親しくなります。でも、他の人間にも見られてしまい、出て行くことになりました。(続編あり)



夏休みに読んでみよう!

2024年

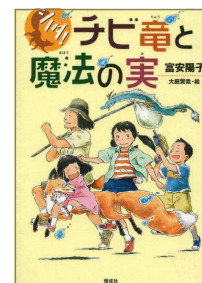
5・6年生用



チビ竜と魔法の実 (シノダ! 〔1〕)

富安 陽子/著 大庭 賢哉/絵 偕成社

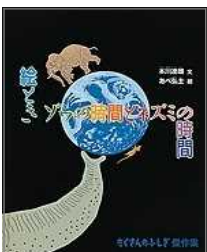
信田家はパパとママ、子どものユイ・タクミ・モエの5人家族です。実はパパは人間ですが、ママの正体はキツネという重大な秘密があります。そして、ママの一族のキツネたちは、いつも信田家に災難を持ちこみます。ある日、ママのお父さんの鬼丸おじいちゃんが、突然リビングに現れました。おじいちゃんは、雲竜の子どもを連れてきてしまい、大騒動になります。



絵ときゾウの時間とネズミの時間

本川 達雄/文 あべ 弘士/絵 福音館書店

ハツカネズミ、ネズミ、ウサギ、イヌ、ブタ、ソウは、体重が10倍ずつふえています。この動物たちの食べる量と体重、体重と心臓のドキドキの時間間隔には、きまりがあります。そして、一生の間に心臓の打つ回数はみんな同じなのだそうです。体の大きさと時間の不思議な関係がわかります。



ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤 洋/作 杉浦 範茂/絵 講談社

黒猫のルドルフは、魚屋に追いかつけられ、トラックの荷台で気を失い、気づくと岐阜から東京に来ていました。トラックからおりたところを、大きなトラ猫に話しかけられました。ルドルフが名前をきくと、「おれの名前はいっぱいあってな。」と答えました。その猫は、野良猫だったので、いろんな人がそれぞれの名前でよんでいたのです。(ルドルフの本は全部で5冊あります)



霧のむこうのふしぎな町

柏葉 幸子/作 杉田 比呂美/絵 講談社

リナは、夏休みにお父さんのすすめで、1人で夜行列車に乗って、霧の谷へ向かいました。小さな駅にはむかえの人もなく、おまわりさんでさえ霧の谷のことはあまり知らないようでした。山道で、大切にしているかさが風に飛ばされ、追いかけていくと、霧がたちこめてきました。やがて霧が晴れると、森の中に小さな町がありました。

